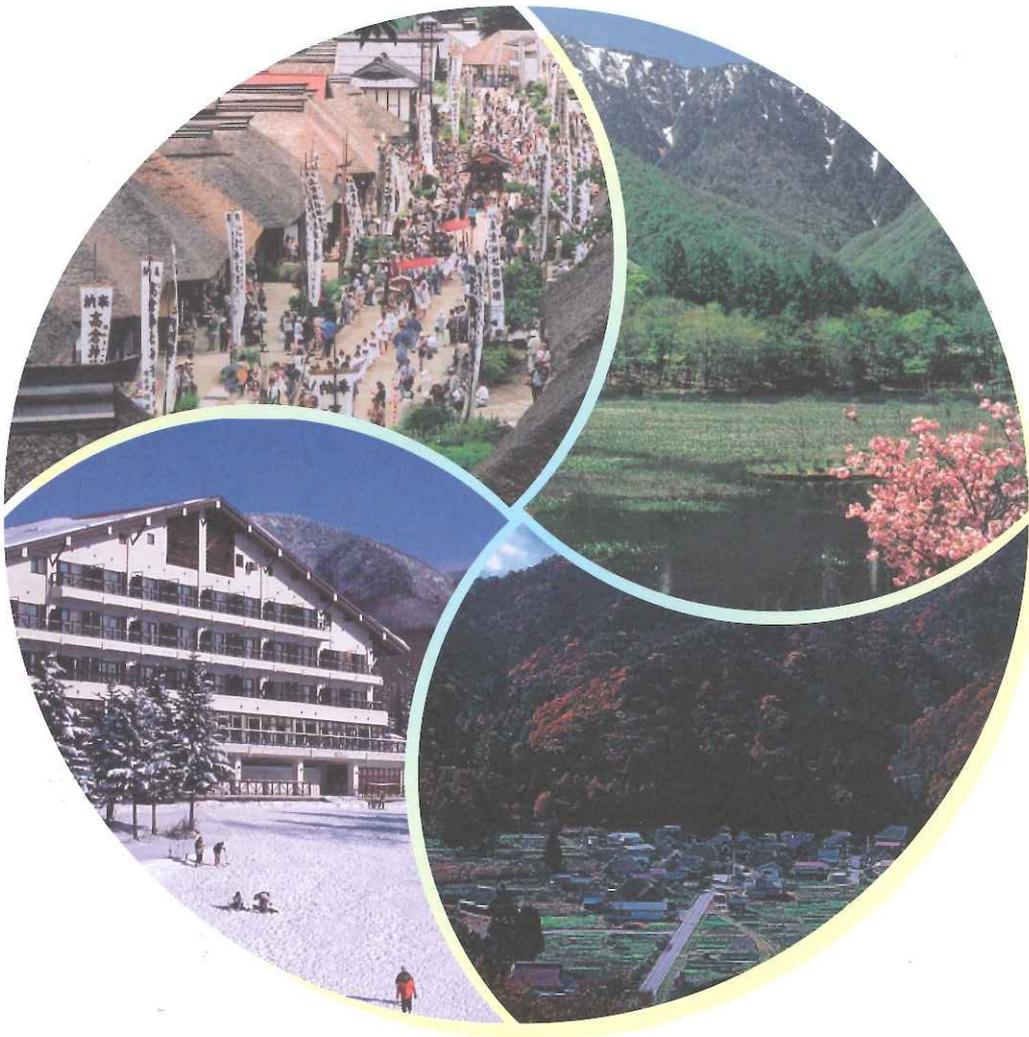


地域高規格道路

栃木西部・会津南道路



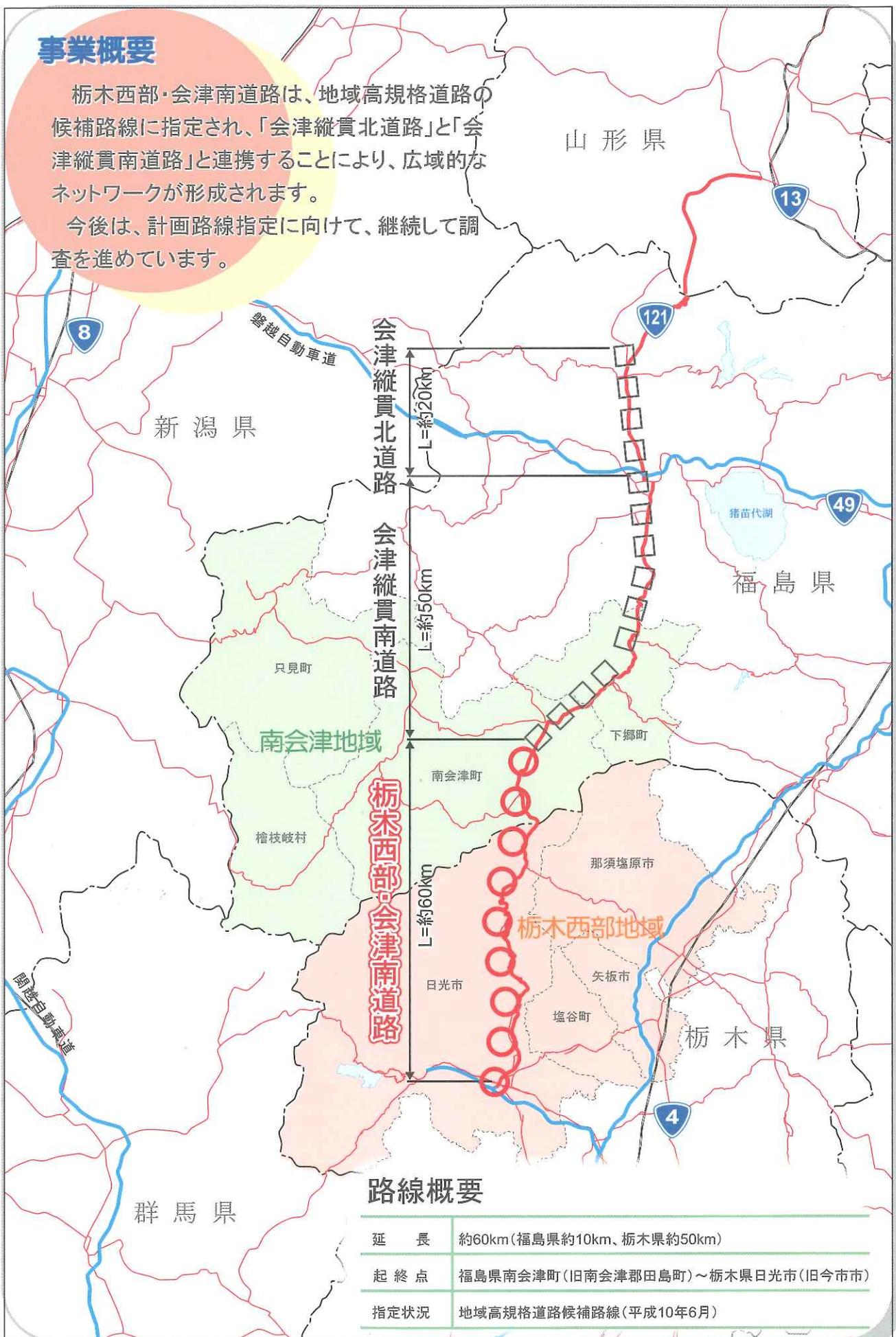
福島県・栃木県



事業概要

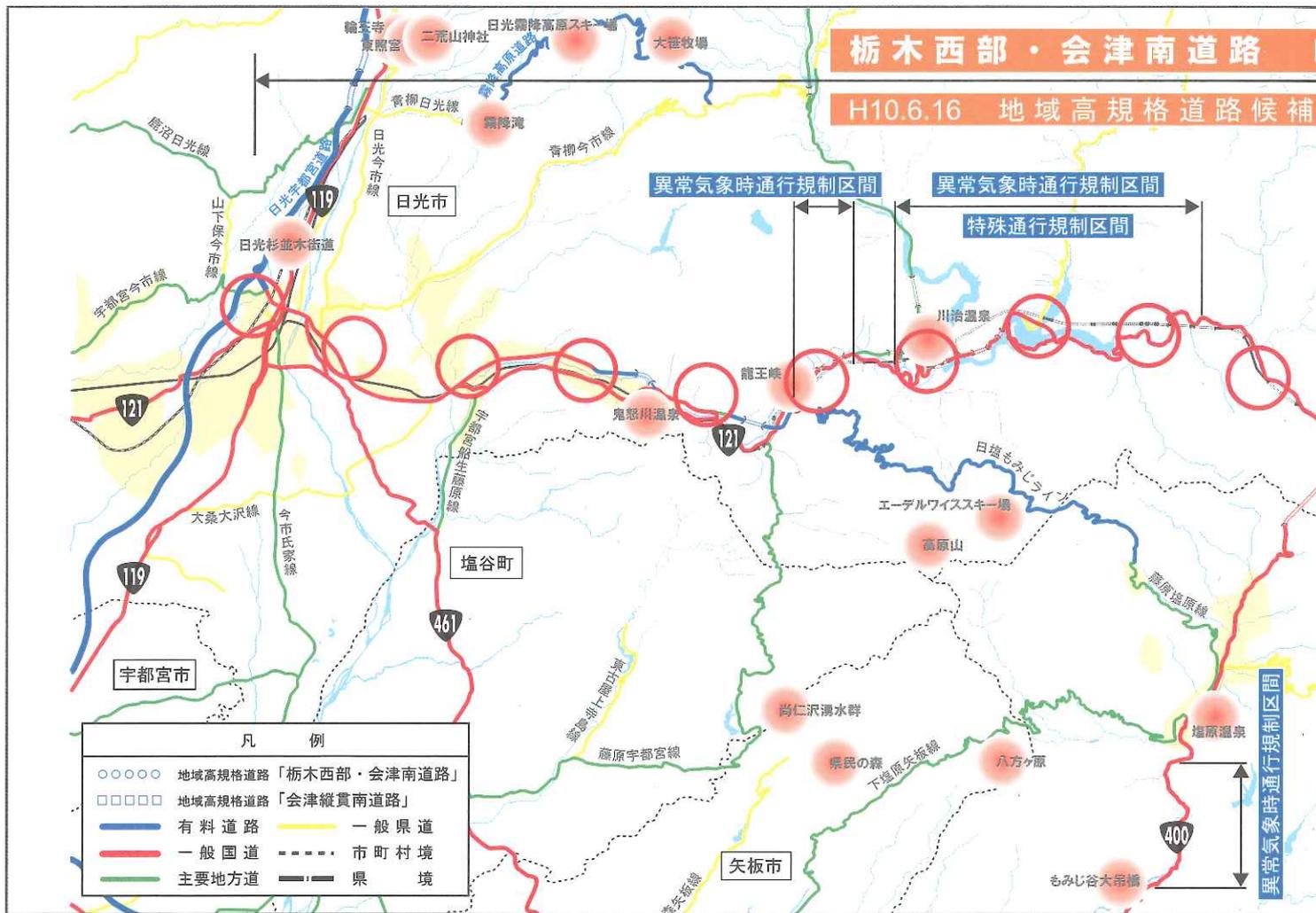
栃木西部・会津南道路は、地域高規格道路の候補路線に指定され、「会津縦貫北道路」と「会津縦貫南道路」と連携することにより、広域的なネットワークが形成されます。

今後は、計画路線指定に向けて、継続して調査を進めています。



路線概要

| | |
|------|--------------------------------|
| 延長 | 約60km(福島県約10km、栃木県約50km) |
| 起終点 | 福島県南会津町(旧南会津郡田島町)～栃木県日光市(旧今市市) |
| 指定状況 | 地域高規格道路候補路線(平成10年6月) |



暮らし・安全

リダンダンシーの確保

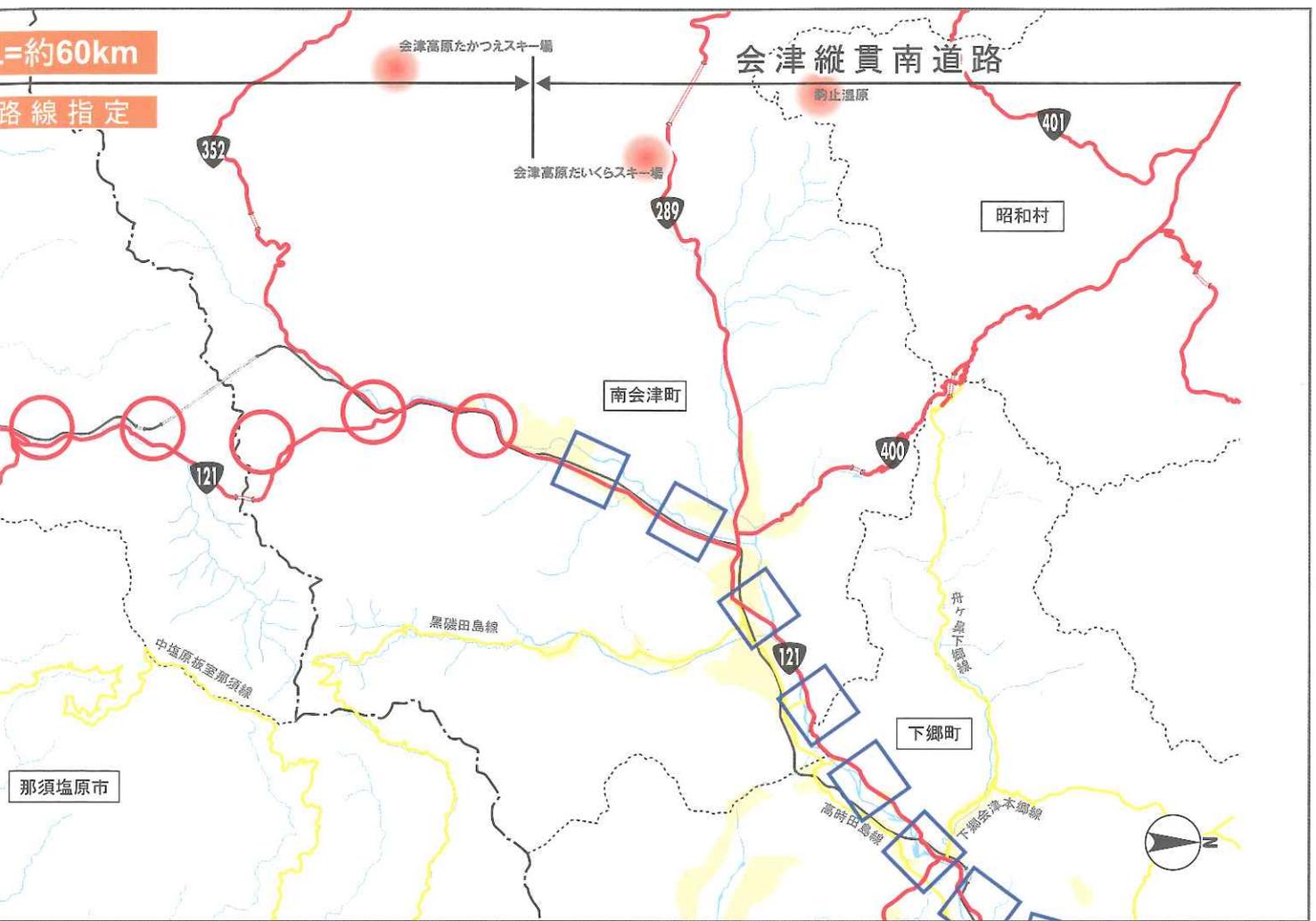
福島県と栃木県を南北に縦貫する東北縦貫自動車道や国道4号が、地震などの災害発生時に寸断された場合、栃木西部・会津南道路は、会津縦貫南道路や日光宇都宮道路などと連携して、地域住民の生活を守る重要な道路として機能を担います。



通行の安定確保

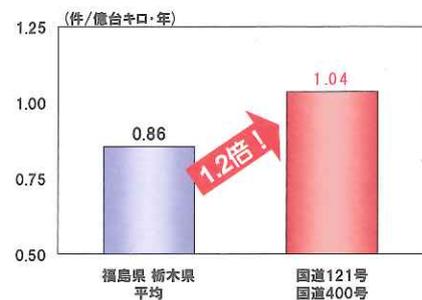
国道121号（福島県南会津町～栃木県日光市）は、異常気象時や災害発生時に通行止めとなる通行規制の指定区間があり、通行規制時には迂回路がなく移動が極めて困難になります。通行規制区間の解消により、地域住民の確実な移動ルートを形成します。



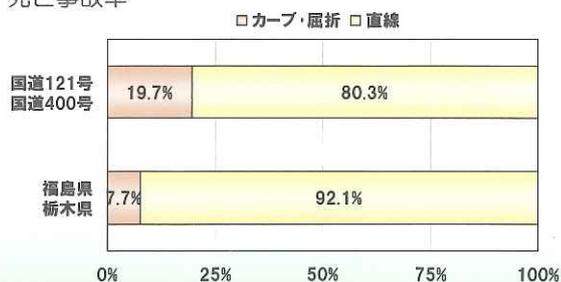


安全性の向上

国道121号で発生する交通事故は、命にかかわる重大な事故が多発しており、死亡事故に繋がる事故の発生確率は、福島県・栃木県平均の約1.2倍です。カーブ区間や交通事故が多発する箇所を改良するなど、交通事故を減らし、地域住民の安全性向上を図ります。



死亡事故率

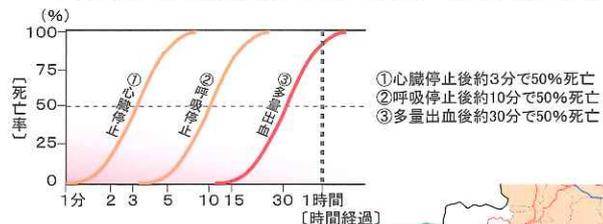


道路線形別事故発生状況

出典：交通事故データベース

救急搬送ルートの確立

南会津地域と栃木西部地域は、重症な救急患者を受け入れる第3次医療施設までの搬送に60分以上を要する地域が大部分を占めます。搬送時間と生存率は密接な関係があり、搬送時間の短縮により、地域住民が安心できる生活環境を確保します。



カーラーの救命救急曲線

※心臓・呼吸が停止して何分経つと命が助からないかを示した曲線



南会津・栃木西部地域の第3次医療施設までの60分カバー圏

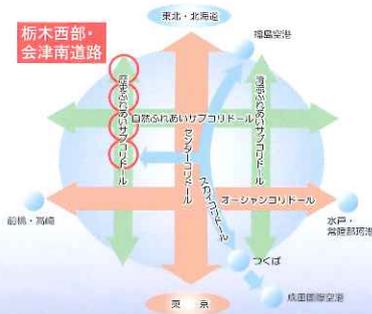
交流・連携

広域ネットワークの形成

福島県と栃木県は、栃木西部・会津南道路を地域整備の骨格を成す道路の一つとして位置づけており、県内や県外の主要都市間の交流・連携を図るとともに、広域ネットワークの確立を目指しています。



福島県上位計画「うつくしま21」



栃木県上位計画「とちぎ元気プラン」

地方と都市との交流機能強化

福島県と栃木県では、農山漁村と都市の多様なライフスタイルを実現するために地方と都市に生活拠点をもち二地域間居住への施策に積極的に取り組んでいるなど、二地域の交流を連携する社会的ニーズが高まっています。栃木西部・会津南道路は、地方と都市の連携を強化し、地域の活性化に寄与します。



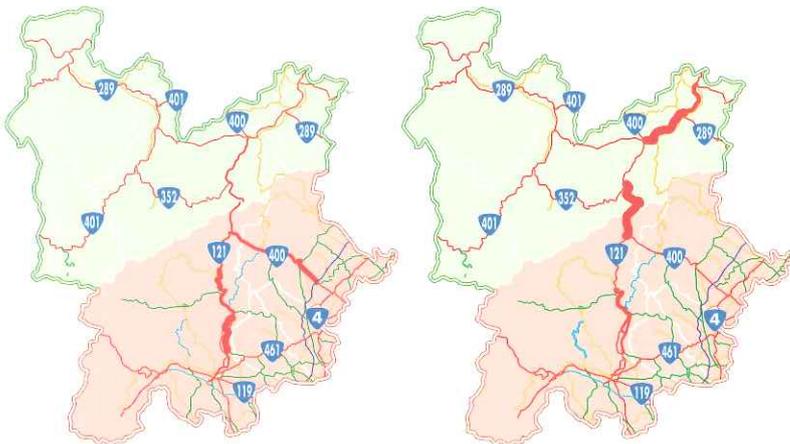
二地域間居住の滞在先（福島県南会津町）

まち・活力

走行性の向上

国道121号（福島県南会津町～栃木県日光市）は、観光シーズンの交通集中や積雪などの気象条件によって、走行速度が低下する区間が存在しています。速度低下の解消によって、地域住民や観光客の走行性の向上を目指します。

| 凡例 | |
|----|--------------------|
| | 40.0 ~ (km/h) |
| | 30.0 ~ 40.0 (km/h) |
| | 20.0 ~ 30.0 (km/h) |
| | 0 ~ 20.0 (km/h) |

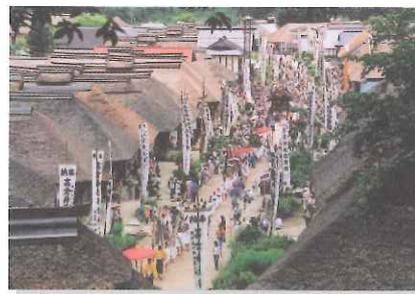


観光シーズンの走行速度状況

冬期積雪時の走行速度状況

観光の活性化（地域産業の活性化）

国道121号沿線には、伝統的な建造物が立ち並ぶ大内宿や鬼怒川温泉など、多彩な観光施設が数多くあります。観光施設間の移動をスムーズにして、観光ルートを形成し、観光の活性化を支援します。



大内宿



鬼怒川温泉

地域高規格道路とは

全国的な幹線道路ネットワークである高速道路（高規格幹線道路）と、これに次ぐ幹線道路ネットワークである一般国道のサービスレベルには大きな格差があります。

このため、高速道路と一体になって、地域発展の核となる都市圏の育成や地域相互の交流促進、空港・港湾などの広域交流拠点との連結等に資する路線を、地域高規格道路として整備を推進しています。

地域高規格道路は、概ね60km/h以上の速度サービスを提供できる規格の高い道路です。

地域高規格道路の機能

地域高規格道路は、次のいずれかの機能を有します。

1. 連携機能 Combination

地方の核となる都市と農山村地域との広域的な連携を図る環状道路や放射道路

2. 交流機能 Communication

高速道路を補完し、物資の流通、人の交流の活発化を促し、広域的な交流を図る道路

3. 連結機能 Connection

空港・港湾等の広域的交流拠点や地域開発拠点等との連絡道路

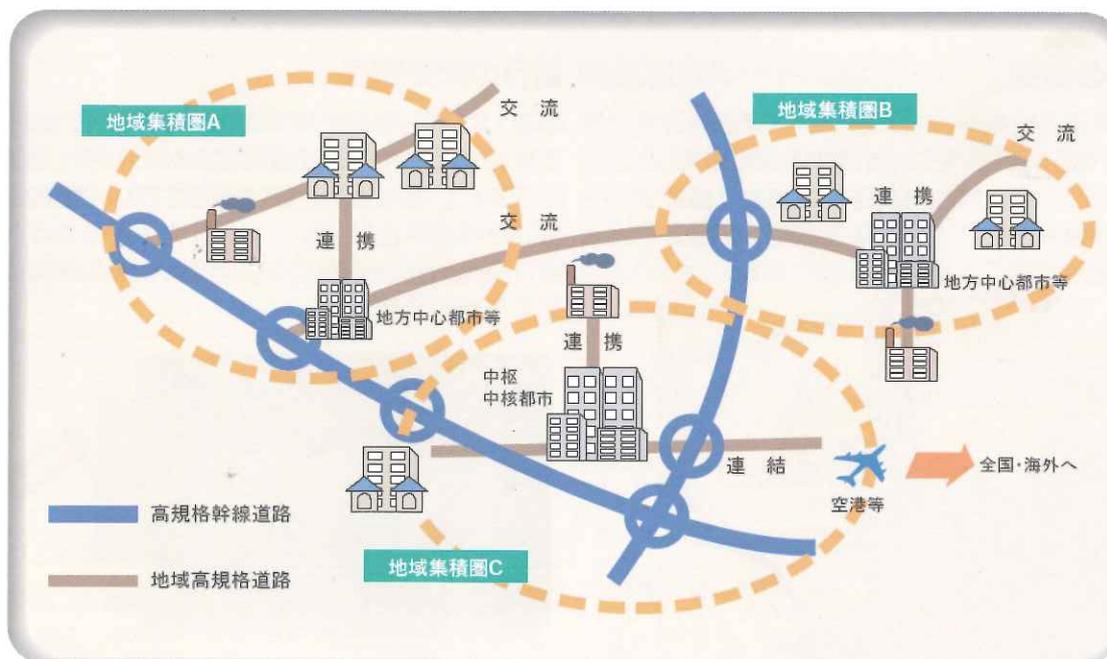
地域高規格道路の路線要件

高速道路を補完する効率性、環状道路のサービスを楽しむ人口規模、生活圏（1時間圏）が拡大する度合い、交通拠点との連絡時間の短縮等を考慮することとし、さらに以下の条件を満たすものとしています。

1. 地域の実情に照らして事業の重要性、緊急性が高いこと。

2. 地域の活性化、振興等の施策との関連性が高く、十分な効果が期待されるもの。

3. 高規格幹線道路やこれと一体となって機能する主要な幹線道路とネットワークとして有効に機能する計画であること。



地域高規格道路のイメージ